



Rotary THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU 名古屋大須ロータリークラブ WEEKLY REPORT



＜本年度クラブ会長方針＞

No.1517

広げようロータリーの想い、職場に社会に

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 大原 敏正 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 鬼頭 茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーは機会の扉を開く

＜2020-21年度 R.I.テーマ＞

R.I.会長 ホルガー・クナーク

第1782回例会

地域社会の経済自衛/米山月間
令和2年10月15日(木)

米山月間卓話

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員54名

48名中40名出席

出席率 83・33%

前々回出席率 100%

例会プログラム

★近藤宏一郎 R財団・

米山記念奨学委員長

・米山月間・R財団月間

寄付協力をお願い

★渡辺国際奉仕委員長

・地区補助金事業活動報告

★米山月間卓話

ロータリーソング

※新型コロナウイルス感染症

拡大防止対策として歌は無し

ゲスト

地区米山記念奨学委員会

副委員長 小栗 正章さん

(名古屋和合RCC)

ニコボックス

本日はようしくお願い致します。

地区米山記念奨学委員会

副委員長 小栗 正章さん

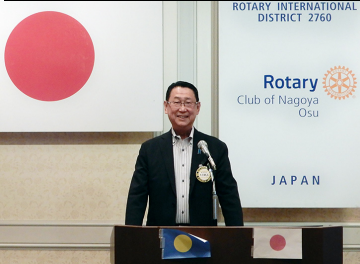
昨日パラオ交流が出来ました。関係者の方、ありがとうございます。

大原 敏正

地区米山記念奨学委員会の小栗正章様

本日の卓話ようしくお願い致します。

本日の卓話ようしくお願い致します。



本日は地区米山記念奨学委員会副委員長でいらつしやいます、小栗正章様にお越しいただき、卓話をして頂きます。ようしくお願い致します。

会長挨拶

大原 敏正

鬼頭 茂成・荻葉 賢二
藤田 澈・横井 衛
近藤宏一郎・酒井 修
地区米山記念奨学委員小栗副委員長
よつこそお越し下さいました。楽しんでいて下さい。

木村 吉伸・仲林 宏昌
松岡 毅・加藤巳千彦
8番目の孫のお参りの際、瀬古写真館の近藤明美さんにお世話になりました。

本日は私の話は、先週お話をしました「入れ歯は最新、最先端の歯科治療だった」の続きをやろうと思つていましたが、後ほど渡辺観永国際奉仕委員長から報告がありますよつに、昨日は今年度地区補助金事業であります、「パシフィックフレンドシップブリッジ」と銘を打ちました、台湾パラオ、日本の交流事業の第一弾が行われましたので、そのお話をしたいと思います。

既に皆様ご存知のように、パラオ共和国は戦前日本の統治時代を経験した事で、大の親日国であります。パラオや他の南洋の島々は、第一次大戦後国際連盟の委託により、日本が委任統治をするようになり、日本が委任統治をするようになり、学校や病院、郵便局や道路などインフラの整備を行い、産業の振興も図られました。南洋で唯一の神社である「南洋神社」もパラオのロール島に作られました。戦後はほとんどのインフラがアメリカによって壊されました。パラオ共和国の位置はフィリピン、オーストラリアの北東に位置するいわゆる南太平洋の島嶼国の一つで、それらは12の国と2つの地域で成り立っています。これらの国の排他的経済水域を合わせると大変に広大で、中国の陸地面積の何と2倍にもなります。日本で消費されるマグロやカツオの8割はこの水域で水揚げされています。水産資源だけでなく海底資源も非常に豊富なのですが、それらを生かす技術やお金がありません。近年は中国の「一帯一路政策」で、これらの多くの国々が経済支配を受けようとしています。経済支配は道具として、これらの国々は、中国により台湾との国交を断絶するよう迫られています。パラオ共和国は数少ない台湾と国交がある国なのです。しかしパラオ共和国も中国の経済に振り回され、主要産業の観光では一時中国

人観光客をストップさせられて、台湾との断交を迫られたりもしていました。パラオ社会の中ではドラッグや人身売買なども広まり、青少年を取り巻く環境は悪化する一方なのだそうです。

そのような環境の中で、日本の柔道を通じて、青少年の健全育成に取り組む活動があることを知り、共感しロータリークラブとして支援をする事となったのです。パラオロータリークラブのメンバーが、パラオで柔道を習う子供たちの事務局となり、窓口になってくれました。当初我々の補助金事業は、柔道キッズの何人かを家族とともに日本に招いて、日本の柔道少年達との交流、東京オリンピックの周辺見学などを企画していましたが、武漢肺炎の影響でこれらが中止となり、昨日リモートによる交流を行いました。準備段階で、南洋島嶼国周辺の情報収集を行う自衛隊情報部から、日本政府の知るところとなり、今回の事業をパラオの日本大使館内で行うことが決まりました。我々が贈った柔道の試合用器材は、柄澤からさわい駐パラオ日本大使から、名古屋大須ロータリークラブへの感謝の言葉と共に、パラオ柔道キッズたちに贈呈されました。贈呈式には以前パラオの事情を我々のクラブにお話しに来て頂きました、同志社大学早川理恵子博士も二ユーシーランドからスカイプを使って参加

されました。また星城高校柔道部の先生、部員達にも参加していただきました。パラオの柔道キッズは小学校低学年から高校生くらいまで30人以上が、柔道着に着替えて正座して「ありがとうございます」と感謝の言葉を、声を揃えて言ってくれました。大変に感激しました。この交流が皆様にお見せできないのが大変に残念です。この後は12月15日に台湾の小学生26名とパラオ柔道キッズ達の18名、梶山小学校30名がリモートを使って交流ができる企画を準備しています。

日本には、日本の先人の方達が

人種平等、博愛の精神から、苦勞の

末に築き上げられた信頼と信用が

あり、アジアには昔からの親日の

国が多くあります。日本を想って

くれる彼らの絆を改めて深める

ことが、将来の日本のためになる

ことと確信しています。ちなみに、

パラオの国旗はこの青地に黄色の

丸ですが、これは独立時に国旗を

定めるに当たって日本の兄弟であ

りたいと想った彼らは、青い海を

表す青地に日の丸ではなく月をイ

メージした黄色の丸、それも日本

に遠慮して、わずかに脇にずらす

配慮をしてくれたそうです。なん

と優しい国民でしょうか。ちなみに

にも一つ同じような日の丸があり

ます。緑地に日の丸です。どの国

の国旗かご存知でしょうか、バン

ググディッシュの国旗です。緑は

草原です、同じように日の丸は遠

慮してセンターをはずしています。

こんなにも日本のことを好いて

くれている国があるのですね。お

友達は大切にしたいものです。

「今日一日、笑顔で過ごしまし

ょう」ありがとうございます。

米山月間卓話

「ロータリー米山記念奨学事業について」
地区米山記念奨学委員会
副委員長 小栗 正章さん



日頃は米山記念奨学事業へのご理解とご協力を頂き、誠に有り難うございます。また、名古屋大須RC様には、これまでに奨学生16名を受け入れて頂き、普通寄付金と特別寄付金を合せて累計で4,800万円を今年の6月末までに頂戴しております。重ねて御礼申し上げます。

米山記念奨学事業は1952年、日本最初のRCを設立した米山梅吉さんの功績を記念して設立された奨学制度で、外国人留学生の方のみを対象としております。この奨

学事業は、設立68周年を迎えました。なぜ外国人留学生かというと、「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したい」という当時のロータリアンたちの強い願いがあったからです。事業規模の大きさをみると、今年度の奨学生数は825人、これまでの累計では、世界129の国と地域から21,000人ほど受け入れています。出身国別では中国・韓国・台湾の3カ国が約7割を占めます。収支については、2019年度の収入合計が14億7千万円、支出合計が15億円ですので、財産減少額が3千万円になっています。この中で特筆すべきものは、2019年度の利息収入5千万円と管理費5千万円です。基本財産の50億円と、特別積立財産の41億円、流動資産などの13億円を全部足した104億円の財産を、利回り0.5%で運用すると5千万円となるので、それが利息収入になって管理費の方へ流れていきます。皆様から頂戴する寄付金は、奨学生に直接使用させて頂いています。

寄付には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。名古屋大須RC様から普通寄付金として1人当たり年間4,000円を、事務局を通じて頂いております。普通寄付金は、年間825人の奨学生をお世話する為の安定財源になっています。特別寄付金は個人・法人

より頂戴しており、金額に決まりはありません。また、寄付に対しては表彰制度があり、個人では累計10万円のご寄付を頂くと米山功労者として表彰されます。

さらに、税法上の優遇措置もあり、個人が寄付をした場合は税額控除と所得控除のどちらかを選ぶことが出来ます。税額控除は寄付額から2,000円を引いた残りの40%の額、所得控除は寄付額から2,000円を引いた残りに所得税率（課税所得額により異なる）を掛けた額が、それぞれ控除額となります。例えば、1万円の寄付をした場合、税額控除では3,200円、所得控除（所得税率が23%の場合）では1,840円となりますので、税額控除の方が得だということになります。ただし、寄付金控除を受けるためには税務署への確定申告が必要となります。また、法人が寄付をした場合は、法人税額及び地方税額が軽減されるという優遇措置があります。

米山記念奨学委員会としては、

国際奉仕事業の1つとして米山奨

学生を育てるということをやっ

ております。芽が出る（開花する）の

に時間がかかりますが、引き続き

ご理解と協力を賜りまして、皆様

のお力で1人でも多く、未来に架

ける「平和の懸け橋」となる人材を

国際社会へ送り出していきたいと

思っております。ぜひご支援を宜

しくお願い申し上げます。

地区補助金事業活動報告

「Pacific Friendship Bridge
帛台日青少年太平洋交流」贈呈式
国際奉仕委員長 渡辺 観永

10月14日（水）日本時間17時30分より、今年度地区補助金事業「Pacific Friendship Bridge 帛台日青少年太平洋交流」の贈呈式が、在パラオ日本国大使館にて執り行われ、当クラブからの柔道の試合用器材などが柄澤彰駐パラオ日本国大使より現地の子供達へ手渡されました。



10月29日（木）例会の案内

米山奨学生卓話

米山奨学生 馬 健淋

公共イメージ向上委員会

小澤 幸男・横川 誠人
住田 正夫・山口 正孝

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。